

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

キッズランド まめの木 おおつ野校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	94%		6%	法律上、満たしていると思うが時々狭いと感じることがある。 利用者が多い時は部屋分けをしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	61%	17%	22%	法律上、満たしていると思うが時々、子どもの人数に対して職員の数が少ないことがある。 子どもたちに合わせた支援を考えると職員が足りないのが現状です。 今のところぎりぎりの日がある。1～2人、
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	94%		6%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか <u>PDCA…P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）</u>	94%		6%	朝のミーティングで昨日の振り返り、本日の流れを共有し反省を次回に行かす取り組みをしています。 職員が広くという点では足りていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			直ぐに職員で共有をし、事業所内にも周知し対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	61%		39%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか（まめの木では、第三者評価は行っていない）	22%	61%	17%	
	8	職員の資質の向上のために、研修や勉強会の機会を設けているか	100%			自主的に研修に参加をしたり、毎月研修日を設けている。 勉強会に出席できない職員にも資料を配布してくれるのがありがたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しているか	100%			更新の度に保護者様よりニーズの変更がないかを確認し常に内容を見直して作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール（知能検査・発達検査）を使用しているか	61%	11%	28%	ツールを使用していないことが多い。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	94%		6%	職員に配置をつけ連携を取りながら安心安全に活動プログラムを遂行出来るように心がけている。 行っているが2～3人で立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			毎月に行事を取り入れ、子どもたちが楽しんで取り組めるような内容を用意するようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	94%		6%	配置表や活動プログラム案を毎日作成し子どもたちが見通しがつけやすい設定を立てています。 個人の個別ファイルを用意し課題に取り組ん
	14	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス個別支援計画を作成している	94%		6%	家族からのニーズに沿った支援を組み入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	94%		6%	毎朝ミーティングを行い活動プログラムのリーダーからの指示を共有してから支援に入っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	61%	28%	11%	翌日の朝のミーティングで昨日の活動プログラムの気付き、反省、良かった点を発表し共有しています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	94%	6%		反省点に残るものは職員共有の連絡板に記載しています。検証、改善を直ぐに行い次回同じことが起こらないように対策を考えています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	89%		11%	安易に継続とせず、子どもたちの能力や気持ちを引き出すことのできる目標を考えて設定しています。
	19	ガイドラインに沿って自立訓練・機能訓練・創作活動・余暇の提供などを組み合わせて支援を行っているか	83%		17%	レクリエーションやリハビリを通して行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%		17%	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			学校に迎えに行った際に、担任の先生からその日の過ごし方などを教えていただくようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	83%		17%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	39%	17%	44%	相談員より情報を得ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	44%	6%	50%	今年度初めて該当の利用者さんがいます。後日、機会を作りたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	39%	11%	50%	連携は取れていると思います。助言、研修まではできていません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	44%	39%	近くの公園で時々行っている。検討していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	28%	28%	44%	こちらから動き出すことは少ない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			連絡帳や送迎時に報告を通して、お子さんの様子をお話をしたり伺ったりしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	61%	17%	22%	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	94%		6%	契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			兄弟児の支援もできたらいいなと思う。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			保護者参加型のレクリエーションを行っている。（運動会など）
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%		11%	苦情に対して対応することも大切ですが、職員の心因的ストレスも考慮して係の必要があります。
	34	定期的にまめの木通信などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月1日に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			契約時にSNS掲載の可否を取り、SNSにアップする際はSNS掲載可否表をみて行っている。行事によっては、その都度確認を取っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	94%		6%	文章や連絡帳の一方的な配布で終わらせず補足や一緒に答えを出すことのサポートをしています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	28%	22%	50%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	94%		6%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			毎月の活動プログラムに取り組みとして入れています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を行う等、適切な対応をしているか	100%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス個別支援計画に記載しているか	83%		17%	個別支援計画に記載している。保護者にも必ず相談している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意向や医師の指示書に基づき対応がされているか	94%		6%	アレルギーを起こさない為の食品の選定、もし起きてしまった時の投与や処置などの対応を用意しています。アレルギー薬や頓服薬を預かっている。対応マニュアル化されている。
	43	ヒヤリハット報告書を作成して事業所内で共有しているか	100%			毎月研修日にヒヤリハットの内容を周知し再発防止に努めている。